

2019年度事業報告

自 2019年4月1日

至 2020年3月31日

2019年度は、施設協会の基本的な役割である会員や会員各社のニーズや要望に応じていく取組みや、期待されている公的な機関としての役割を果たす取組みを基本に、関係機関の支援と協力を得て、次のように多岐にわたる事業活動を積極的に推進してきました。

年度末にかけての新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保安講習会が延期になるなど一部の事業への影響がありましたが、当協会の果たすべき役割は概ね達成できました。

1. 施設協会では、JR各社に民鉄や鉄道・運輸機構及び関連会社を加えた、全国の鉄道施設部門に対して、「情報交換」「情報提供」「交流の機会」を設定して、鉄道施設技術やノウハウを「横」に繋ぐ取組みと「縦」に繋ぐ取組みを進めてきました。
 - (1) 積極的に会員増強に努めた結果、普通会员についてはJR移行後最高となる9,800名を超える会員数となり多くの会員が協会の行事に参加しました。
 - (2) 協会誌については内容の充実に取り組みました。「駅・輸送サービスの改善計画」「鉄道インフラの海外展開」などに加え、ここ数年施設分野の夏の重要な課題である「熱中症対策」を特集で取りあげるなど、鉄道施設をとりまく大切な課題を意識した編集に努めました。また、将来を担う若年層に向けたものとして「若手技術者のための土木講座」のシリーズに加え、若手会員の資格取得支援となる「新受験ゼミナール」を開始しました。
 - (3) 協会誌の電子版については、協会発足以降すべての協会誌がホームページから一元的に閲覧できるようするとともに、鉄道施設技術発表会や総合技術講演会概要集も電子化して追加掲載するなど、会員サービスの充実に取り組みました。

また、会員サービスの一環として、当協会が保有する2,700冊にもおよぶ図書を希望する会員が閲覧できるよう整理を行うとともに、2020年度初めには協会ホームページから閲覧できるようシステム化の準備を進めました。
 - (4) 協会賞には、功績賞2名、技術賞11名、施工技術賞11名及びプロジェクト8件(25名)、論文賞27編(52名)、著作賞1編及び保安賞35名の方が選ばれました。

(5) JR、公民鉄の鉄道事業者の鉄道技術の振興と発展及び情報交換の貴重な場として、「総合技術講演会」を前年度に引き続き開催しました。また、鉄道に係る工事関係会社については保線部門と土木部門を合わせて「鉄道施設技術発表会」を、また、用地・協議部門については「用地・協議業務研究会」を開催しました。

各種講演会、発表会においては交通新聞社から後援を頂き、優秀な発表について交通新聞に掲載するなど参加者の意欲高揚に取組みました。

(6) 全国の各支部では、技術の振興や継承に資すべく講演会や見学会を活発に実施しました。特に各支部では若手会員が参加しやすい活動を目指した取組みを進めました。

2. 施設協会が有する「公的性格」を有効に発揮することで、公民鉄各社の独自の取組みがより社会的信用の増大に繋がることを目的にした取組みを進めてきました。

(1) 保安関係講習会については、工事施工各社の事故防止と鉄道事業の安全安定輸送に確実に貢献することを目的に、講師の質の向上に努めるための講師研修を実施するとともに、鉄道事業者との連携を深め、安全に対する情報をタイムリーに講習で活用するなど内容の充実に努めてきました。

(2) 民鉄からの保安関係講習受託については、西武鉄道、東急電鉄に続き、新たに小田急電鉄の保安講習会を開始、体制やシステム整備等によりその定着に努めました。

(3) 調査研究として、「鉄道の土木技術基準に関する検証とその対応の方向性等に係る調査検討（国土交通省）」を受託、地方鉄道事業者教育の一環として関西地区及び中国地区で「軌道の維持管理講習会」を実施しました。また、「鉄道土木構造物アセットマネジメント検討委員会の運営（JR 東日本）」では、それぞれ専門家の指導を得ながら内容の充実した検討委員会を実施しました。また、今年度は新たに日本の鉄道インフラを海外への輸出を目的とした「海外軌道工事技術検討会」を実施しました。

(4) 技術検定試験については、JR 東日本及び JR 北海道からの要請を受け、昨年度に引き続き実施しました。また、本技術検定が、他会社においても活用できるか否かの可能性を見極めるため、関東民鉄 9 社 20 名を対象に試行的な試験を実施しました。

(5) 国土交通省や JR 各社等の要請を受けて「外国人技能実習制度」へ軌道の保守工事職種の追加にむけ専門家会議（厚生労働省）での議論を踏まえ、厚生労働省令の改定作業推進に取組みました。

(6) 叙勲について春に続き、秋の叙勲についても民間企業関係者の方が受賞の栄に浴されました。

- (7) 日本工業標準調査会（JISC：経済産業省）における「技術専門委員会（鉄道技術等）」及び国際標準化戦略計画会議、インフラワーキング等に出席しメンバーとして積極的に対応しました。
- (8) 「鉄道設計技士（土木部門）試験」の受験対策講習会を前年度に引き続き実施し 36 名が受講しました。

なお、事業報告の内容を補足する事業報告書附属明細書は別紙のとおりです。

事業報告書附属明細書

I 会 務 (敬称略)

1 会員数 (令和2年3月31日現在)

- (1) 普通会员 9,444人
- (2) 特別会員 921社

2 総会・委員会等

(1) 第9回通常総会

- 日 時 令和元年6月6日
- 場 所 東京都豊島区西池袋 ホテルメトロポリタン池袋
3階「富士の間」
- 議 事 報告事項 ①2018年度事業報告
②2018年度公益目的支出計画実施報告
③2019年度事業計画及び収支予算
決議事項 ①2018年度決算
②役員を選任

(2) 理事会

(3) 相談役・顧問会

(4) 委員長会

(5) 企画委員会

(6) 財務委員会

(7) 保安事業委員会

(8) 叙勲及び表彰選考委員会

(9) 功績賞等選考委員会

(10) 協会誌編集委員会

企画、用地・協議、線路、土木、鉄道工事と安全各分科会

(11) 論文賞等選考委員会

(12) 保安賞選考委員会

(13) 支部長・幹事長会議

(14) 支部事務局連絡会議

(15) 支部総会等

北海道	総会 (令和元年7月9日)	評議員会、幹事会等
東北	総会 (令和元年7月8日)	評議員会、幹事会等
関東	総会 (令和元年6月6日)	評議員会、幹事会等
中部	総会 (令和元年7月17日)	評議員会、幹事会等
関西	総会 (令和元年7月11日)	評議員会、幹事会等
中国	総会 (令和元年7月18日)	評議員会、幹事会等
四国	総会 (令和元年7月2日)	評議員会、幹事会等
九州	総会 (令和元年6月14日)	評議員会、幹事会等

3 登記等

(1) 登記 (令和元年6月11日)

2019年度 役員の変更、就任 (再任9人、新任1人)

(再任)

芦谷 公稔

小倉 雅彦

金岡 裕之

小島 滋

関 雅樹

武上 康介

野焼 計史

三井 高公

三輪 誠

(新任)

今井 政人

2019年度 監事の変更、就任 (再任2名)

名越 次郎、峰 英高

II 叙勲及び表彰（敬称略）

1 協会推薦による春・秋の叙勲受章者

令和元年春の叙勲受章者 瑞宝単光章 波多江貞雄 元峰製作所
鈴木 哲夫 元日本機械保線
足立 邦夫 元シーエヌ建設

令和元年秋の叙勲受章者 瑞宝単光章 古川 勝彦 第一建設工業
勝俣 孝幸 ユニオン建設工業
桃澤 勉 双葉鉄道工業

2 協会賞受賞者（令和元年）

【功績賞】 2名

田中宏昌	東海旅客鉄道株式会社 非常勤顧問
峰英高	株式会社峰製作所 代表取締役会長

【著作賞】 1名

鉄道を支える匠の技	青田 孝	1 著者
-----------	------	------

【技術賞】

『個人』 11名

東北支部	JR 東日本	佐藤 豊
	仙建工業	大場 宏樹
関東支部	JR 東日本	佐藤 初男
	鉄建建設	須藤 正弘
	第一建設工業	安東 豊弘
	鉄道・運輸機構	清水 一郎
中部支部	シーエヌ建設	服部 正美
	名工建設	藤塚 正弘
関西支部	JR 西日本	小椋 強
	南海電気鉄道（関西高速鉄道へ出向）	小林 史寛
九州支部	鉄道・運輸機構	諏訪 幸男

『プロジェクト』 8件 25名

東北支部	秋田新幹線着落雪対策設備整備	JR 東日本	井上 崇 鈴木 隆裕 吉田 泰輔
関東支部	東日本大震災からの復興 ～常磐線の全線復旧～	JR 東日本 " " 東鉄工業	岩崎 浩 小川 考二 松本 敏志 中村 聖二
	品川駅改良（山手線・京浜東北線線路移設）	JR 東日本	田中 大 藤井 裕 長嶋 秀幸
	タイ・バンコク都市鉄道パープルラインの軌道 メンテナンス支援	JR 東日本	松田 博之 大越 正裕 関野 敦司
中部支部	地震対策に伴う岐阜羽島駅構内スラブ軌道のバ ラスト軌道化工事	JR 東海 " 名工建設	吉田 真規 松山 文和 松岡 裕助
	赤湊川橋りょう軌道乗り心地改善に伴う桁移動 方法の検討と施工	JR 東海	曾和 亮介 岡本 崇
関西支部	おおさか東線建設事業（新大阪・放出間）	JR 西日本	寺口 貴泰 小倉 強 榎木谷 倫之
	平成30年7月西日本豪雨災害復旧工事	JR 西日本	阿部 成紀 木下 隆介 前田 勝幸 難波 雅史

【施工技術賞】

『 個人 』 11名

北海道支部	札建工業	石野陽一
東北支部	第一建設工業	水澤秀樹
関東支部	大林組	埴守幸
	交通建設	中村政治
	双葉鉄道工業	岩坂栄司
	日本機械保線	米田和廣
中部支部	ジェイアール東海建設	百田正雄
関西支部	大鉄工業	松井康
	大鉄工業	藤井洋二
中国支部	広成建設	渡邊淳
九州支部	三軌建設	瀧口康則

【論文賞】

27 編 52 名

部門	編	論文名	執筆者	社名
用地・協議	3	「所有者不明建物」撤去に向けた検証と撤去スキームの構築	北口 貢	JR 西日本不動産開発
		東日本大震災によって生じた仙石線の内陸部移設に伴う、旧仙石線用地の処理と売却	松本 豊	JR 東日本
		渋谷～代官山間地下化工事に伴う用地取得および東横線跡地利用	星野 光男	東急電鉄
企画	6	嵯峨野観光鉄道(株)における災害警備計画	西田 哲郎 齋藤 辰男	嵯峨野観光鉄道
		2019 年春全線開業のおおさか東線の計画	堤内 裕 飯田 文夫	JR 西日本 JR 西日本
		地下鉄トンネル保守の取組み	柳川 知道	大阪市高速電気軌道
		双葉鉄道工業の熱中症根絶に向けた取組み	宮本 隆司	双葉鉄道工業
		神奈川東部方面線(相鉄・JR 直通線、相鉄・東急直通線)の概要と整備効果	平手 知	鉄道・運輸機構
		飯田橋駅改良計画	園田 弘世 武田 嘉雄 坂本 渉 大原 朋之	JR 東日本
線路	8	座屈防止杭による道床横抵抗力増加メカニズムの理論的及び実験的検証	藪中 嘉彦 高尾 賢一 吉川 秀平	JR 西日本 " 鉄道総研
		JR 東日本におけるレール損傷防止の取組み	品川 恒平	JR 東日本
		西日本豪雨災害における復旧 MIT 施工に対する技術的取組み	村山陽一郎 片岡 武	レールテック JR 西日本
		AI 技術を活用した軌道狂い予測手法の研究	松尾圭太郎 西谷 亮広	JR 東海
		水準狂い起因する左右動揺改善に向けた取組み	角村 将太	JR 東海
		レール傷の今と昔	瀧川 光伸	日本線路技術
		軌道スラブ移動における乗り心地向上	藤井 良平 青木 良平	広成建設
		東海道新幹線におけるレール削正	宮木 貴治 三輪 智之	JR 東海
土木	10	タブレット端末を活用したコンクリート構造物のはく落予測ツールの開発	角野 拓真 轟 俊太郎 田所 敏弥	鉄道総研
		JR 山田線宮古・釜石間鉄道復旧工事	鳴海 渉 大武 博史 佐藤 拓也	JR 東日本
		支間 33m 下路式工事桁の安全性と効率性向上を目的としたカンザシ桁との一括撤去	須藤 佑湖 田中 貴之 横田 直倫 相原 修司	JR 西日本
		SfM 技術による三次元モデルを用いた目視検査支援システム	小林 裕介 松丸 貴樹 長峯 望 新名 恭仁	鉄道総研 " " アジア航測
		航空レーザ測深導入に向けた取組み	滝川晋太郎	JR 東海
		脈状地盤改良工法による液状化対策の施工 ～東武スカイツリーライン北千住駅～	井上 康太 水越 貴大	東武鉄道
		鉄道トンネルにおける FRP 内巻工の構造と施工法	藤井 哲也 松本 敬司	広成建設
		新幹線高架橋支承部改良における無徐行仮受設備の設計・施工技術	根本 晴透	東鉄工業
		プレキャスト鉄道ラーメン高架橋の確認施工 ～北陸新幹線、福井開発高架橋～	前田 龍一 山根 秀則 光森 章	鉄道・運輸機構 " JV
		軌条桁を用いた老朽化した跨線橋の一括撤去工事における監督業務	安原 純一	レールテック

【保 安 賞】

35 名

支部	氏名	所属会社
北海道支部	中山 悟	北海道軌道施設工業
	横山 勇 樹	札建工業
東北支部	藤田 幸 祐	仙建工業
	久保田 義 彦	ユニオン建設
	相馬 紀 夫	第一建設工業
関東支部	馬場 敏 博	鉄建建設
	鈴川 信 夫	峰製作所
	大澤 一 夫	清水建設
	浦野 広	第一建設工業
	高萩 正 三	双葉鉄道工業
	小山 和 隆	東鉄工業
	村上 伸 一	全溶
	長塩 治 久	ユニオン建設
	村山 真 一	大成建設
	中島 洋 平	交通建設
	浅野 博	東鉄工業
	岡田 博 文	日本機械保線
	坪内 浩 治	鹿島建設
	木村 典 正	双葉鉄道工業
	田子 一 義	大林組
	藤野 祐 亮	交通建設
保院 司	双葉鉄道工業	
中部支部	長縄 祐 司	名工建設
	高橋 正 信	シーエヌ建設
	馬場崎 義 之	ジェイアール東海建設
	樋口 潔	名工建設
関西支部	高瀬 一 弘	大鉄工業
	山田 雅 彦	レールテック
	浦林 仁 一	大鉄工業
	大崎 英 二	レールテック
中国支部	奥住 毅	レールテック
	浅野 英 雄	広成建設
四国支部	筒井 伸 也	福馬建設
九州支部	新田 洋 久	九鉄工業
	橋詰 太	三軌建設

Ⅲ 行 事 (敬称略)

1 総合技術講演会

部門別講演

- ◇ 保線／発表件数 13 編 (令和元年 10 月 23 日)
- 最優秀賞 線路設備モニタリング装置を活用した列車動揺基準値抑制に関する研究
JR 東日本 籠島 浩紀
- 交通新聞社賞 道床噴泥管理手法の提案
JR 四国 山口 輝
- 優秀賞 2 編
- JR 東日本 柴田 満広
JR 東海 白浜 久也
- 審査委員特別賞 1 編
JR 西日本 横田 光司
(審査委員長 JR 東日本ビルテック 顧問 大井清一郎)
- ◇ 調査・計画／発表件数 7 編 (令和元年 10 月 24 日)
- 最優秀賞 新線「なにわ筋線」大阪都心部縦断整備計画
—事業化に向けた河川及び道路構造物との交差点検討—
JR 西日本 山下 和哉
- 優秀賞
JR 東日本 坂本 賢二
- 審査委員特別賞 1 編
JR 北海道 小松 孔明
(審査委員長 ジェイアール東海コンサルタンツ 代表取締役社長 森下 忠司)
- ◇ 建造物検査／発表件数 8 編 (令和元年 10 月 24 日)
- 最優秀賞 繰り返し被災するローカル線山間斜面の維持管理
JR 九州 小川 純一
- 優秀賞 2 編
- JR 東日本 松川 直樹
JR 西日本 森田 拓弥
- 審査委員特別賞 1 編
JR 東海 大橋 翼
(審査委員長 ジェイアール総研エンジニアリング 代表取締役社長 市川 篤司)
- ◇ 土木工事施工／発表件数 13 編 (令和元年 10 月 24 日)
- 最優秀賞 B I Mを最大限活用した生産性の高い鉄道建設工事の実現
JR 東日本 上山 裕太
- 交通新聞社賞 赤渕川橋りょう軌道乗り心地改善に伴う桁移動方法の検討と施工
JR 東海 曾和 亮介
- 優秀賞 2 編
- JR 東日本 西川 雅規
JR 西日本 益井 大樹
- 審査員特別賞 1 編
JR 四国 小川 拓矢
(審査委員長 日本交通技術 専務取締役 三輪 誠)

2 鉄道施設技術発表会 (令和元年7月26日)

部門別発表

◇ 保線/発表件数18編

最優秀賞 道床細粒化箇所におけるマルチ施工方法の確立

日本機械保線 豊田 大樹

交通新聞社賞 新幹線用弾性PCマクラギ敷設区間におけるMTT施工方法の一考察

東鉄工業 野沢 諒

優秀賞 2編

大鉄工業 中澤 孝典

交通建設 安ヶ平秀紀

審査員特別賞 1編

名工建設 石田 雅教

(審査委員長 JR東日本 設備部 次長 原田 彰久)

◇ 土木/発表件数18編

最優秀賞 移動式外足場を用いた新幹線高架橋剥落修繕の施工

第一建設工業 永木圭一郎

交通新聞社賞 線路上部斜面に存在する不安定岩塊対策工事の施工技術

東鉄工業 浅川 浩隆

優秀賞 2編

建設塗装工業 持永健次郎

シーエヌ建設 小沢 学

審査員特別賞 1編

名工建設 大野 正裕

(審査委員長 JR東日本 設備部 次長 下山 貴史)

3 用地・協議業務研究会 (令和元年9月5日)

講演者

平成30年日本鉄道施設協会用地・協議部門論文賞受賞者

JR西日本 小栗 陽介

鉄道・運輸機構 松永 祐弥

JR九州 坂元 英治

特別講演

『昨今の不動産市況及び権利評価と補償との関係』

一般財団法人 日本不動産研究所 阿部 進悦

小島 慎一

松井 秀和

4 講演会等

北海道支部

◇ 「ハード対策とソフト対策を活用した地震被害最小化」 (令和元年7月9日)

鉄道総研 研究開発推進部 JR部長 室野 剛隆 氏

◇ 「北陸新幹線工事現場見学(九頭竜川・手取川橋りょう・スラブ軌道製作工場)」

(令和元年11月20日~21日)

東北支部

- ◇「鉄道の地震被害と耐震化技術」 (令和元年7月8日)
鉄道総研 研究開発推進部 部長 舘山 勝氏

関東支部

- ◇「新・新幹線構想—四国新幹線の実現を目指して—」 (令和元年6月6日)
JR四国 顧問 梅原 利之氏
- ◇「北海道新幹線野田追トンネル建設工事等現場見学」 (令和元年10月30日～31日)

中部支部

- ◇「歴史に学ぶ気象災害」 (令和元年7月17日)
歴史研究家・気象予報士 松嶋 憲昭氏
- ◇「東海環状自動車道 岐阜山県第一トンネル建設工事等の現場見学」
(令和元年12月10日)
- ◇「構造物は100年の耐久性は当たり前」 (令和2年2月26日)
JR東日本コンサルタンツ 技術顧問 石橋 忠良氏

関西支部

- ◇「2019年度 鉄道施設技術発表会(保線部門)」関西・中国支部共催
(令和元年6月11日)
- ◇「複合ソリューションの展開と物流課題の取組」 (令和元年7月11日)
鴻池運輸 執行役員 経営品質本部 本部長 吉田 信吾氏
- ◇「神奈川東部方面線工事見学」 (令和元年10月17日)

中国支部

- ◇「将来も鉄道があり続けるために」 (令和元年7月18日)
JR西日本 鉄道本部 施設部長 金岡 裕之氏
- ◇「九州新幹線西九州ルート(新大村、諫早、長崎等)見学」
(令和元年10月31日～11月1日)
- ◇「私の野球人生」 (令和元年11月21日)
広島カープOB 天谷 宗一郎氏

四国支部

- ◇「これからつくる新幹線を考える」 (令和元年7月2日)
高知工科大学 社会システム工学教室 教授 大内 雅博氏
- ◇「土木工事写真展(高松駅コンコース)」 (令和元年11月14日～21日)

九州支部

- ◇「JRE-BIMの取組みについて」 (令和元年6月14日)
JR東日本 建設工事部 課長 永井 孝弥氏
- ◇「沖縄市多目的アリーナ建設ならびに普天間飛行場代替施設建設事業見学」
(令和元年9月18日～19日)

5 諸会合

「鉄道の日」実行委員会主催のイベント・式典等（協賛）	(令和元年10月15日)
土木学会主催の土木の日（協賛）	(令和元年11月18日)
鉄道施設関係者新年懇親会	(令和2年1月9日)

IV 調査研究等

国土交通省

鉄道の土木技術基準に関する検証とその対応の方向性等に係る調査検討

主 査 北海学園大学 名誉教授 上浦 正樹

JR 東日本

鉄道土木構造物アセットマネジメント検討委員会の運営

委員長 長岡技術科学大学 名誉教授 丸山 久一

鉄道設計技士（土木部門）受験対策講習会の実施 (令和元年6月29日)

鉄道技術検定業務の実施 (令和元年11月4日)

海外軌道工事技術検討会 (令和元年5月16日・令和元年9月5日～9月6日)

厚生労働省

外国人技能実習制度に係る鉄道施設保守整備（軌道保守整備作業）の職種追加

第1回専門家会議 (令和元年10月9日)

第2回専門家会議 (令和元年11月29日)

トライアル試験 大阪 (令和2年1月30日)

V 保安関係講習会等

講習会	実施回数	講習人員
工事管理者（在来線）	166	8,507
工事管理者（新幹線）	99	3,975
軌道工事管理者（在来線）	63	2,345
軌道工事管理者（新幹線）	36	1,101
重機械運転者	253	10,669
特殊運転者（MC）	60	1,663
特殊運転者（新幹線MC）	23	828
特殊運転者（MTT）	13	121
軌道作業責任者（在来線）	35	977
軌道作業責任者（新幹線）	19	268
民鉄関係	95	3,637
省令10条教育等	647	40,314
列車見張員その他	759	18,867
合 計	2,268	93,272

VI 刊 行

- 1 日本鉄道施設協会誌
- 2 軌道工事標準仕様書（新設・改良線）改正版一